



この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
平成30年度学校だよりNo.17
平成30年11月12日
文責 校長 吉尾直樹



ふるさと大島の一員として、日頃の感謝の気持ちを伝える 11月9日 社会福祉協議会・おれんじ友交流学習

大島村社会福祉協議会で、デイサービスに来られている高齢者の方と、また、グループホーム「おれんじ友」の入居者の方と、全校生徒で交流学習を行いました。これは、ふるさと大島の一員として、積極的にボランティア活動を行い、主体的に社会参画する力を高めるものです。

音楽部による演奏や全校合唱、リズムダンスや参加者とのゲームを行い、笑顔あふれる楽しい時間を過ごしました。

特にゲームについては生徒会が中心となって進行を行い、参加いただいた高齢者の方に、喜んでいただきました。これからも、さまざまな地域活動に積極的に参加する気持ちを大切にしていきます。



秋晴れの日、澄んだ歌声を響かせました

11月11日 大島村ふるさと祭り



さわやかな秋晴れの日曜日、大島村ふるさと祭りが行われ、全員合唱で、「空は今」「しあわせよカタツムリにのって」の2曲を披露しました。屋外のステージなので風の音などもありましたが、中学生らしい堂々とした姿勢で、澄んだ美しい歌声を響かせました。

また、生徒会バザーでは、その売り上げをユニセフに募金します。商品の提供や購入など、協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

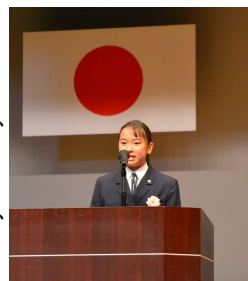


英語の文章に命を吹き込む

11月10日 市英語暗唱大会

市英語暗唱大会が中部ふれあいセンターで行われ、本校から2名の生徒が出場しました。

ただ暗唱するだけでも大変な上に、その表現を工夫して文章に命を吹き込むのは、とても苦労したと思います。なお、優勝した生月中の生徒は、2月の県英語暗唱大会に、平戸市の代表として出場します。



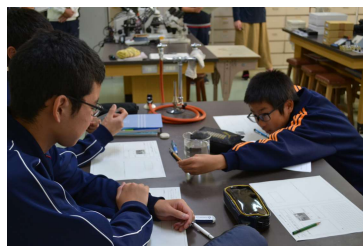
しろくまはどう見えるのかな？

11月6日 1年理科研究授業

平戸市内の中学校の理科の先生が来校され、横田教諭が、1年生で「光の屈折」についての研究授業を行いました。

しろくまの首と胴がずれて見える写真を導入に、さまざまな物質で光の屈折率が異なることに気づかせ、仮説を検証するという学習でした。自分の気づきや疑問を言葉にするというのは難しいですが、生徒たちは、よく考えながら、自分の考えを述べていました。とても、すばらしいことです。

意見をまとめたり、述べたりする力は、これからの学習ではとても大切です。公立高校入試や今月行われた大学入試新共通テストの試行問題にも、仮説検証的な問題設定もあります。これらを解くには、日頃から、思ったこと、気づいたことを述べ合い、互いの考えを参考によりよい答えを考える、ということの繰り返しが必要です。本校では、少人数のよさを生かした対話的で深い学びを進めていきます。



12日～ 三者面談・教育相談 19～21日 期末テスト 21日 避難訓練(火災)



3日 人権学習集会 10日 生徒会役員選挙 11日 授業参観・学級懇談会
21日 終業式 27日 第6回ふれあいリズムダンスコンクール

